

# 直播栽培向き低アミロース米新品種「はなえまき」

A new rice cultivar "Hanaemaki" with low amylose content and suitability for direct seeding cultivation

育成期間 平成3年～14年(12年間)

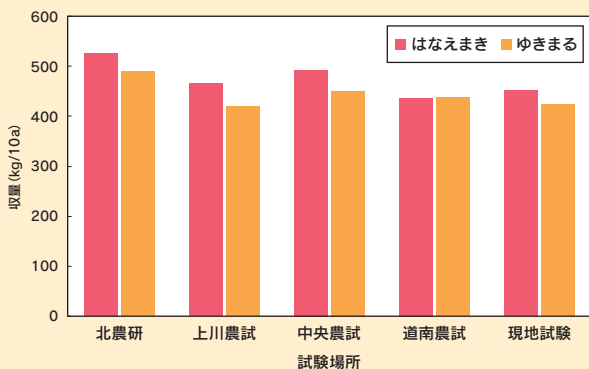
交配親 (道北53号×水稻中間母本農11号 F1)×空育139号

農林登録番号(旧系統名) 水稻農林388号(北海288号)

## 特徴

「はなえまき」は平成15年度に農林登録された、直播栽培向きの低アミロース米の新品種です。

北海道では直播栽培は低コストではあるが収量が低いことや主力品種の「ほしのゆめ」「きらら397」が中生品種のため直播栽培に使用しにくいことにより、ほとんど普及していませんでした。「はなえまき」は、これまで直播に使われてきた品種「ゆきまる」に比べて直播栽培で多収であり、またアミロース含有率約10%の低アミロース米であるため、ねばりが少ない米とのブレンドで、業務用弁当などへの使用が期待できます。このため、「ほしのゆめ」や「きらら397」のようなブランド力がなくても、品質次第では高価格での流通が期待されます。



## 直播栽培での「はなえまき」の収量

注) 試験年次

北農研 1998～2002

上川農試 1999～2002

中央農試 1999～2002

道南農試 1999～2001

現地試験 2000～2002 (現地試験は11ヶ所の平均値)



(左:はなえまき 右:ゆきまる)



(左:はなえまき 右:ゆきまる)

北海道農業研究センター

お問い合わせ先:企画調整部情報資料課

T E L:011-857-9260 <http://cryo.naro.affrc.go.jp/>